

第 7 回支援部学習会の様子

1 月 27 日（火）第 7 回の支援部学習会を行いました。前回に引き続き、岩手大学教育学部特別支援教育科から池田泰子先生を講師としてお招きし、演題を「ことばの発達②～言語発達に遅れのあるお子さんのことばの発達支援～」として、お話をいただきました。

まず、話しことばが遅れている原因はどこにあるのかを判断すること、そして、そこからどのように現在の段階の把握をし、目標を設定していくかということについてお話いただきました。子どものことばの発達がどの段階にあるのかを把握するために、例えばものの使い方の場合は、

- ①ものを使っている場面をしっかりと見せてやらせてみる
- ②片付けをしてもらうことでものと場所の理解を深める
- ③お手伝いをしてもらう

といったステップを踏みながら理解していくことがポイントであることを教えていただきました。

さらに、ことばの表出は、様々な人や物への興味であることから、周りの大人が積極的に子どもに声を掛けて身の回りの物や人に注意を向けさせたりすることの必要性をお話いただきました。実際の指導場面の映像を見せていただいたことで、より具体的に分かりやすくことばについての支援の仕方を学ぶことができたという参加者からの感想もあり、学びの多い充実した学習会となりました。



進路講演会の様子

1 月 12 日（水）成年後見センターもりおか理事の土居るり子様を講師として迎え、進路講演会が開催されました。深夜からの降雪であいにくの道路状況となりましたが、19名の保護者に参加をいただきました。ありがとうございました。

講演については、成年後見制度は「判断が難しい方の財産を管理してもらえる」という印象ではないでしょうかという話から入り、人としての権利が守られていることの大事さや制度の内容、事前にお渡しした保護者質問への回答を柱としながら講演していただきました。また、成年後見人の仕事内容や卒業後に気になる内容について実例を挙げながら説明していただき、参加した保護者から「分かりやすかった」「これから何ができるか考えていきたい」という声がありました。他には「本人の実印（印鑑登録したもの）を成人のお祝い等で作ってみては」「本人に何が必要か書き溜めたもの（今からでも）があるとよい」「18歳が成人となることで、これからの社会の在り方や問題も変化しているため、様々な情報をキャッチすることが大切」など様々なアドバイスがありました。終了後も情報交換が続く実り多い講演会となりました。

